

## 中浦ジュリアン像

中浦ジュリアンは 1567 年にキリシタン武士の家に生まれ、有馬にあったイエズス会のセミナリヨで学びました。彼のキリシタンとしての人生は、15 歳の時、天正遣欧使節としてローマに派遣される 4 少年の 1 人に選ばれたことで輝かしい転機を迎えました。中浦ジュリアンは 1582 年に日本を出発し、教皇グレゴリウス 13 世、教皇シクストゥス 5 世、スペイン国王フィリップ 2 世などに謁見した後、1590 年に帰国しました。

豊臣秀吉が 1587 年にキリスト教神父の追放令を出すなど、中浦ジュリアンがいなかった 8 年の間に日本はキリスト教に対して不寛容になっていました。中浦ジュリアンは 1608 年に司祭に叙階され、1614 年に幕府が禁教令を発し、外国人、日本人を問わず多くの司祭が国外に逃れた後も日本に残ることを選びました。そして、潜伏下で密かに信徒たちを指導しました。

1632 年の暮れ、当時 60 代半ばになっていた中浦は幕府に捕らえられました。何ヶ月にもおよぶ獄中生活の後、1633 年 10 月 18 日に穴吊りの拷問にかけられ、4 日目の 10 月 21 日に亡くなりました。中浦ジュリアンは、2008 年にローマ教皇ベネディクト 16 世によって 188 人の日本の殉教者の 1 人として列福されました。